
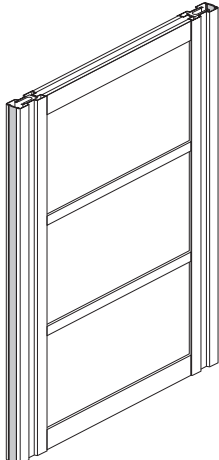



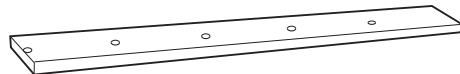
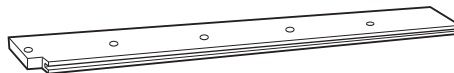


シルエットスクリーン【下荷重タイプ】
片引・引違(3本引・4本引共通)・引込・引分

このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

⚠ 施工にあたってのご注意

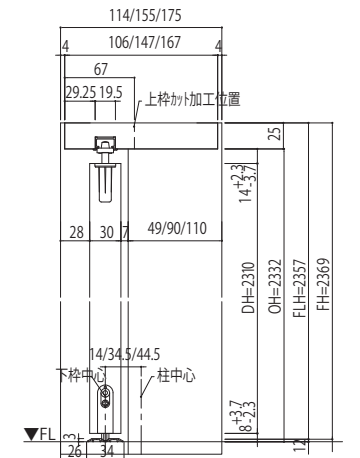
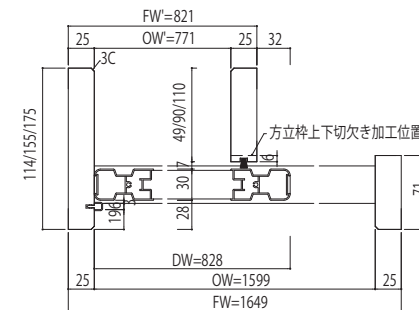
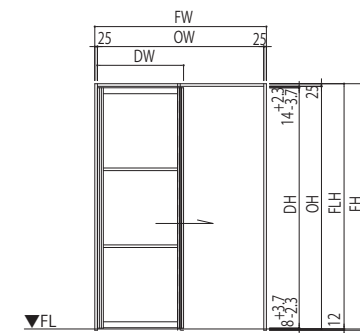
- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1m以上離して作業してください。

扉梱包(扉本体)				枠梱包							
片引	引違 2本 引込 引分	3本 引違	4本 引違	片引	引違	4本引違	3本引違	2本引込	引分		
1	2	3	4	上枠 (レール込)	1	1	1	1	1	 (図は引違用です)	
<div> <div>・上部ガイド付</div> <div>・下部戸車付</div>  </div>				下レール (ビス付)	1	1	1	1	1	 (図は引違用です)	
				縦枠	1	2	2	2	1	—	
				フィラー定規	1	2	2	2	1	—	
				戸当枠	1	—	—	—	1	2	
				方立枠	1	—	—	—	1	2	

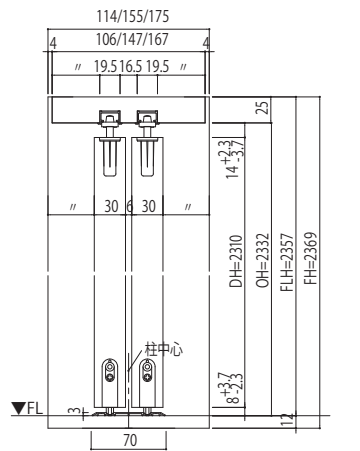
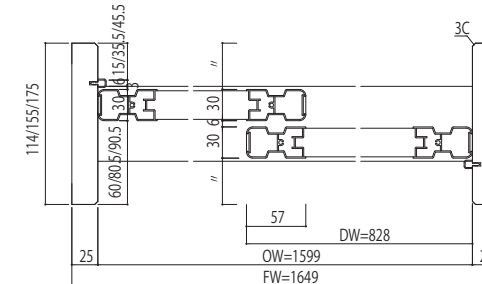
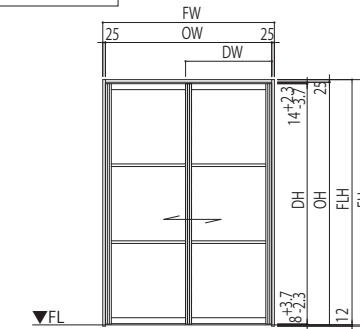
スタンダード(固定枠)		
サイズ	FW	H
片引・引違	1649	2357
2本引込	2452	
3本引違	2420	
4本引違	3248	
引分	3312	

納まり図

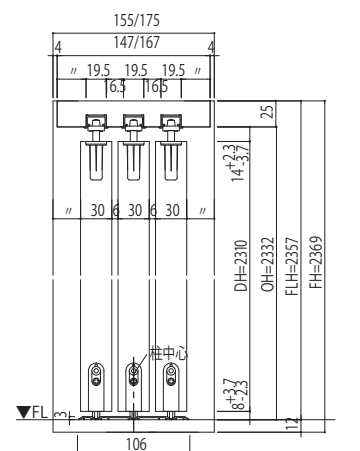
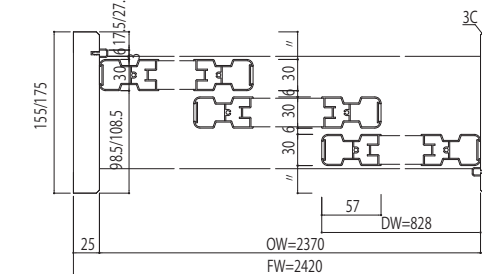
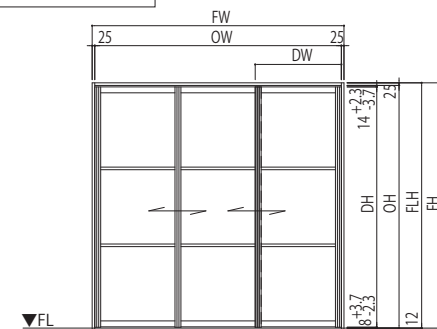
片 引



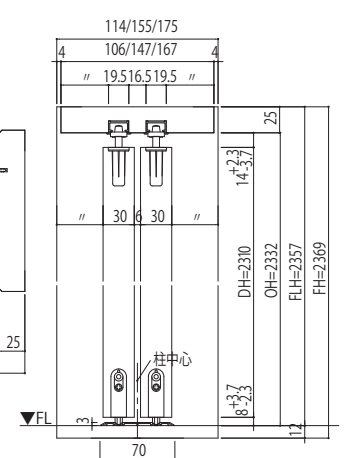
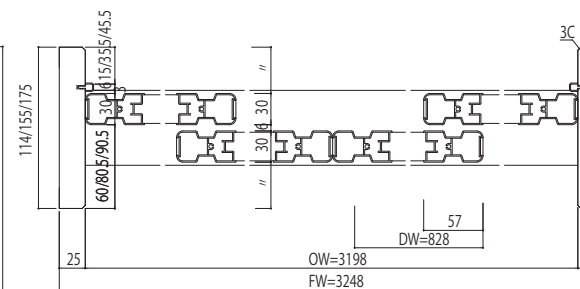
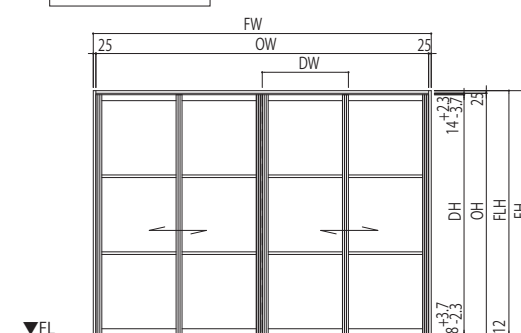
引 違



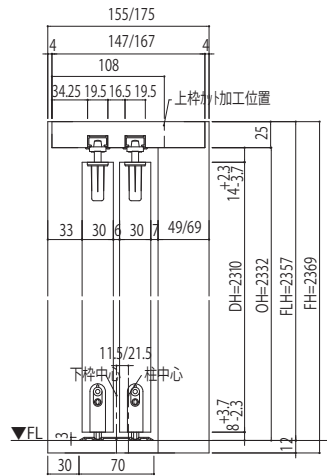
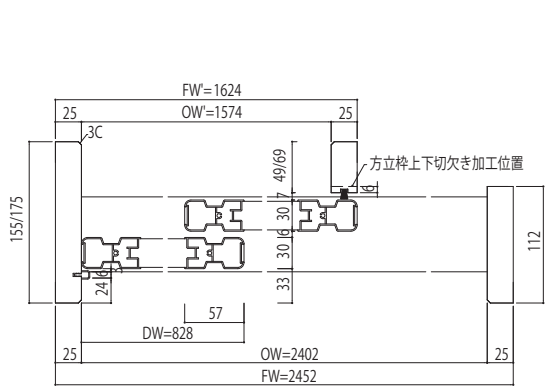
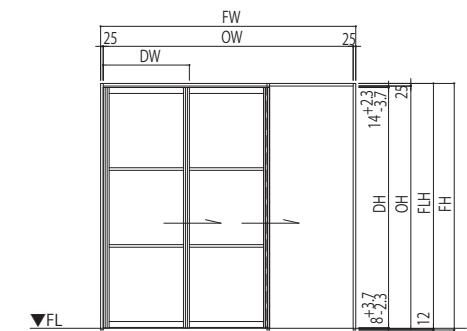
3本引違



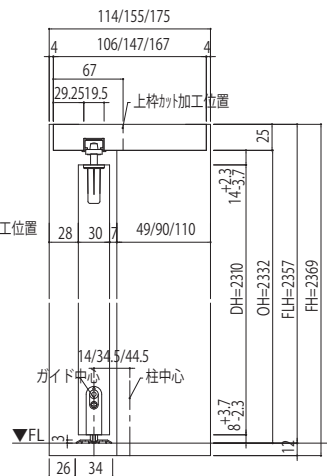
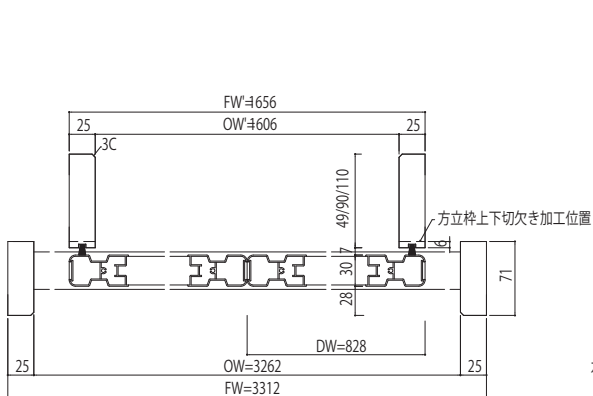
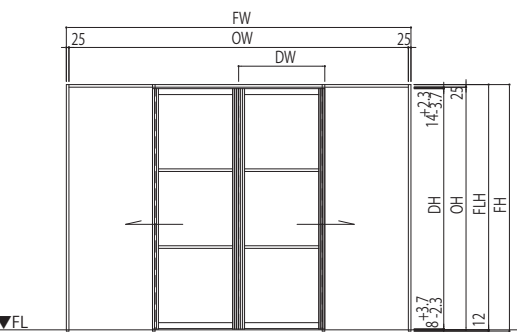
4本引違



2本引込



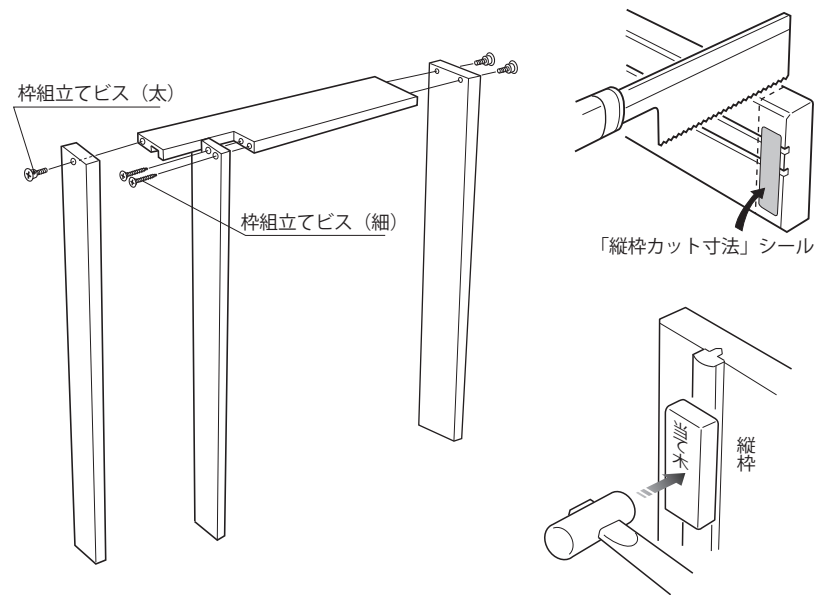
引分



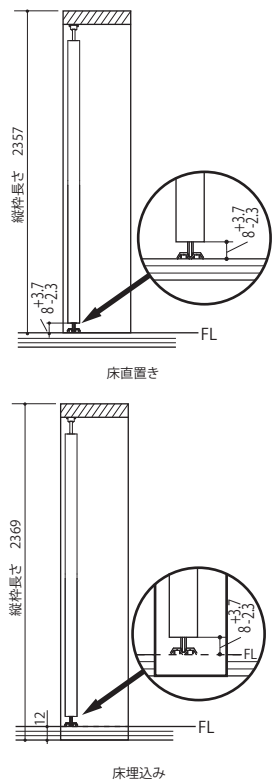
取付け順

1. 枠の組立て

- 縦枠は、長めに設定してあります。「縦枠カット寸法」シールを参考に、ご希望の現場施工に合わせて下端をカットしてください。
- フィラー定木は縦枠の溝に接着剤を入れ、当て木などを添えて打ち込みます。
- 縦枠及び戸当枠と上枠を、組立てビス(太)で締付けてください。
- 方立枠は、枠組立てビス(細)で固定してください。



＜下荷重用縦枠カット寸法＞



2. 枠の取付け

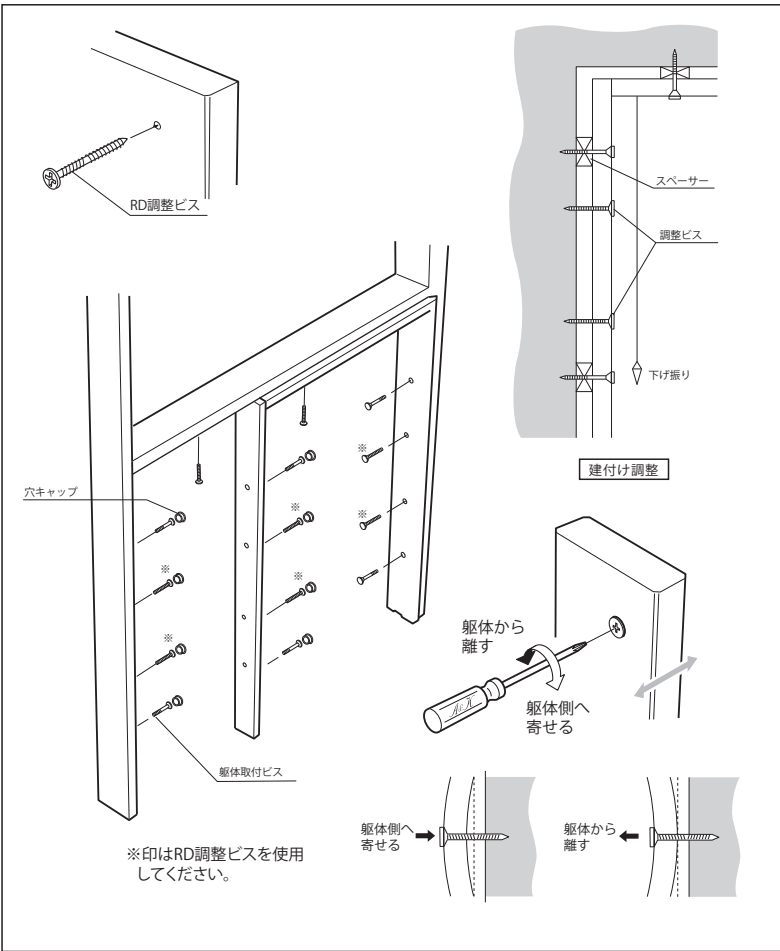
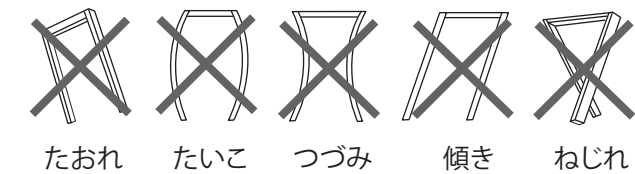
- 開口部の水平・垂直を確認してください。
- 躯体取付けビスとRD調整ビスを使って、枠を取付けてください。


注意 上枠は垂れ下がらないよう、しっかり固定してください。

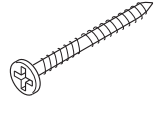
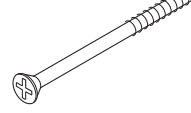
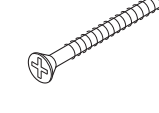
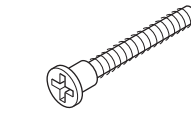
- RD調整ビスの使い方
 - RD調整ビスは、枠の固定と調整を兼用するビスです。
 - RD調整ビスで、枠の下穴より躯体に取付けてください。(プラスドライバー使用)
 - 下げ振りなどで建付けを確認しながら、プラスドライバーでビスを回して調整してください。

注意 RD調整ビスによる調整は、必ずボードを貼る前に行ってください。

- 固定の後、方立枠や戸当枠の取付け穴に穴キャップを挿入してください。



部品梱包	ビスキャップ	
	 (φ13)	
片引	12	
引違	8	
3本引違	8	
4本引違	8	
2本引込	12	
引分	16	

部品梱包	RD調整ビス46	躯体取付けビス	枠組立てビス(細)	枠組立てビス(太)
	 (4.5×47mm)	 (4.2×62mm)	 (3.4×50mm)	 (7.0×50mm)
片引	6	6	2	4
引違	4	10	—	4
3本引違	4	13	—	4
4本引違	4	12	—	4
2本引込	6	12	2	4
引分	8	12	4	4

3. 下レール取付位置

注意

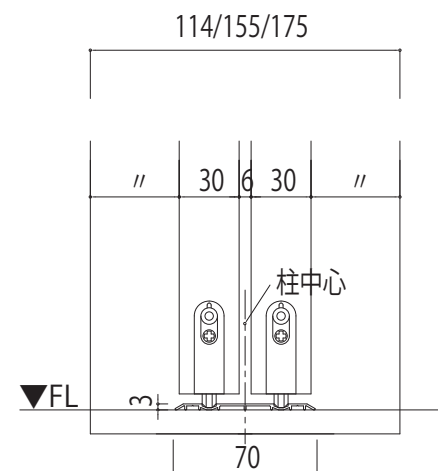
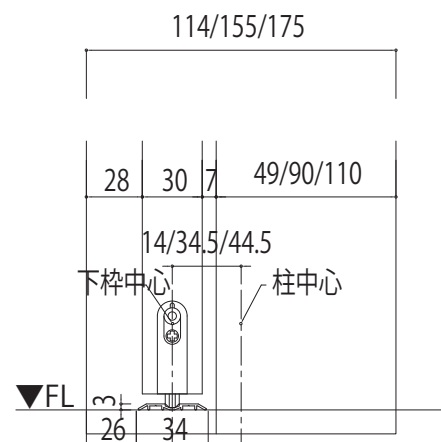
下レール取り付け時にビスをもみ込みすぎない様にしてください。
もみ込みすぎるとレールがゆがみ、走行に支障をきたすことになります。

片 引

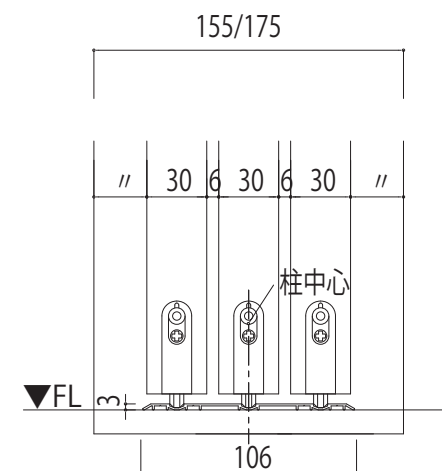
引 分

引 違

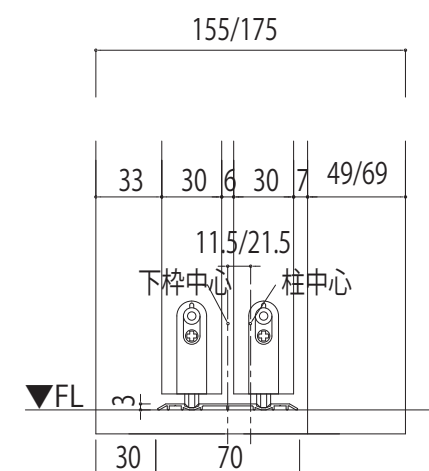
4本引違



3本引違



2本引込

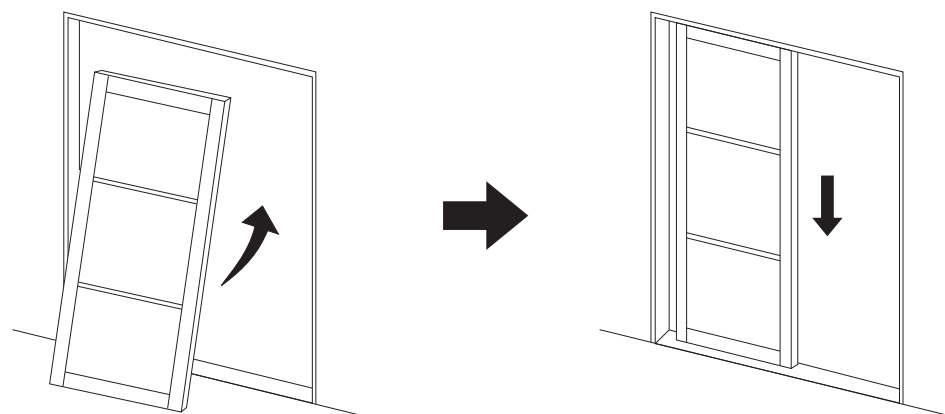


4. 扉の建て付け

注意

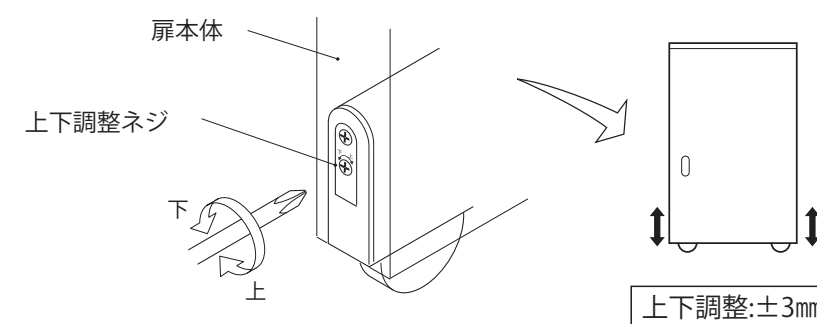
扉を建て付ける際、又は外す際は床面を十分に養生してから行ってください。
養生材は、扉の角を押し付けても破損しないものを用いてください。床面を傷つけるおそれがあります。

- ①扉を若干斜めにして、上部金物を上レールに挿入してください。
- ②戸車がレールにはまる用に扉をゆっくりおろしてください。

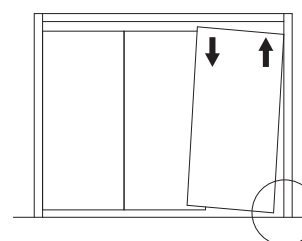


5. 調整方法

○扉の調整
戸当たり部パッキンをめくり、手回しの
⊕ドライバーで上下調整ねじを回し扉の
上下調整をしてください。



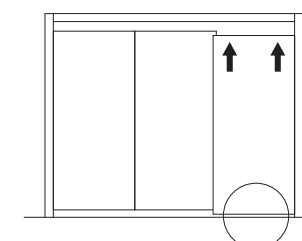
○扉が右に傾いてる場合
右側を上げ、左側を下げてください。



注意

扉が傾いていると振れ止め金具が
機能しません。
扉とタテ枠が平行になるように調整
してください。

○扉下部がこすってる場合
左右ともに上げてください。



注意

鴨居が垂れており、かつ上下調整を
下げすぎると、扉下部がガイドピンなどに
こするおそれがあります。
この際は上方向に調整してください。